

J H F 理事会議事録

日 時： 2006年6月8日(木) 11:00~17:00

場 所： J H F 事務局会議室（豊島区巢鴨 3-39-4 東都ビル 2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 西ヶ谷一志 議事録署名人：松田保子 北野正浩

議事録作成人：桜井加代子

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 大沢 豊 菊池守男 北野正浩 下村孝一

西ヶ谷一志 松田保子

欠席【理事】城涼一 【監事】對馬和也

（出席理事7名、欠席理事1名。今理事会は定足数を満たし成立した）

3. 会長挨拶／各理事一言

西ヶ谷理事： 安全講習会を、彩の国弓立とアカイワで、テストケースとして実施しました。述べ30名の講習生が大変熱心に聞いてくれました。ぜひ全国展開していきたいと思います。

菊池理事： 理事がこんなに忙しいとは思いませんでした。会長を見ていると月の半分位は連盟の事をしているのではと思います。各理事の持ち前と長所も分かって来ましたので、総会が終わったら少し役割分担を見直さないといけないと思います。

荒井常任理事： 教員検定を行うに当たって、施設や検定員の対応にバラツキがあります。当初意図した安全を重視した検定が出来ていると言える状況にはありません。

無線誘導、緊急時の操作やアウトサイド等に対応出来るイントラを育てるようにしたいと思います。出来れば複数の検定員で検定できる仕方を考えたいと思います。

また自分の施設が十分でなければ近くの施設でやれるようにしなければなりません。検定結果も事務局だけでなく、担当理事に写真とかを見せてもらえる様なシステムにしていくべきです。

それと無線機維持負担金も、全然使わない時は無料でよいと思います。参加者に返金せよというのではなく、主催者を少しでも応援した方が JHF のためにもなると思います。

大沢副会長： 事務局で無線機の整理をしました。故障したもの、電池ボックスの取り付けなど、もう少し管理をやらないといけないと思いました。全体としての仕組みはできてきているのですが、細かい管理がまだまだだと思っています。

北野常任理事： 先月、HG 世界選手権にチームリーダーとして参加しました。世界の高い技術レベルを国内に還元できたらと思います。後で皆さんにそのやり方について意見をいただ

けると有り難いと思います。

今回フランスが強かったのですが、フランス連盟は選手の派遣費用を十分に出してくれるし、事前にスペインの似た様な所で共同練習して来たそうです。JHFも将来そういうことも目指したいと思います。

荒井常任理事： 西ヶ谷理事のように、講習会等で講演をしてくれるといいですね。能力がある人は積極的にやって貰って、予算もそういう方面に振り向けないとJHFの価値がないと思います。

松田理事： 明日広報出版部の会議をやります。新部長の東野さんに週一で事務局に来ていただいていますので、上手く活動をしていきたいと思います。また去年から理事会は改革に取り組んでいますが、フォローも大事だと思います。総会が終わりましたら全員で点検をしたほうがいいかなと思います。

4. 審議事項

第4-1号議案 2005年度事業報告案

文書理事会で承認された議案の追認を求めるもの。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4-2号議案 2005年度決算報告案

同じく文書理事会で承認された議案の追認を求めるもの。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4-3号議案 2006年度事業計画案

同じく文書理事会で承認された議案の追認を求めるもの。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4-4号議案 2006年度予算案

同じく文書理事会で承認された議案の承認を求めるもの。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4-5号議案 HGクラスV・女子世界選手権日本代表チームの承認

同じく文書理事会で承認された議案の追認を求めるの。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4-6号議案 スカイスportsシンポジウム実行委員の推薦

同シンポジウムを協賛すると共に、実行委員として松田理事を推薦することが提案された。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4-7号議案 PGエアロバティック世界選手権日本代表チームの承認

岡 CIVL 代表から別紙のとおり第1回パラグライディングエアロバティック世界選手権に福岡聖子、加藤豪両選手を派遣することが申請された。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4-8号議案 CIVIL 日本代表、副代表の推薦を求める。

現 Delegate は岡芳樹氏、Alternate は郷田徹氏。引き続きお願いできるかどうかその場から両氏に確認を行った。

両氏の意志を確認した上で採決し、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4-9号議案 HGフライト安全セミナーへの講師派遣を求める。

岩手県連から、東北三県（青森、秋田、岩手）を代表してハンググライディング愛好家を対象とする安全セミナーへの講師派遣依頼が提出された。

安全性委員板垣直樹氏、ハング競技委員会担当北野常任理事を派遣することで話しあった。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4-10号議案 石川県連からの提案書

石川県連から別紙のとおり提案書が提出された。協議として取り扱うこになった。

提案書を要約すると、1.フライヤー会員1票の重みを考慮して、全国をブロック化するとともに、会員減少に合わせて理事定数を減らすこと。 2.信頼できる理事を選任するため、理事の半数を正会員から選出する。 3. JHF 総合保障について、スクールにメリットを提供し協力を得ること。 4. JHF のスポンサー(協賛会員)を開拓するメンバーを置くというもの。

協議の結果、1.2 は定款にかかわることなので、総会の場で投げかけて、正会員に持ち帰って検討してもらうことにした。3.4 についてはもっともなことなので、今後の事業展開に生かすことになった。この旨下村会長から回答することになった。

第4-1-1号議案 スカイレジャー航空無線維持負担金の特例について

荒井常任理事から趣旨説明を行った。

審議の結果次の通り提案を修正した。

天候などの事情で無線機を使用しなかった場合は、無線機維持負担金を徴収しない。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4-1-2号議案 航空レジャー無線の貸出しに関して

パラグライディング競技委員会岡委員長からの提案。

提案の趣旨を明確にするためには、項目1と2の順序を入れ替えた方が良いとの意見が出された。大会終了後に実際の使用台数について維持負担金を支払うこと、貸出し台数の上限を参加予定人数のプラス10%までと確認した。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

審議事項 第4-1-3号議案 フライヤー登録銀行引き落としの提案について

1.フライヤー会員の更新忘れによる無保険者をなくす。2.更新事務の合理化による経費の削減を図る等のために会費を銀行引き落としにする提案。

会員1万人の時代を先取りし早急に対応する必要がある。その時点になってからでは実施できないなどの意見が出された。

実施に当たっては、手続き及び制度面で、多くの解決すべきことが予想されるので、早急に検討することを確認した。

下村会長： この提案は審議にして、この方向で検討することを決議しましょう。

松田理事： では、「フライヤー登録銀行引き落としの提案」を審議事項として提案します。

議長： それでは審議に上がりました。フライヤー会費の銀行自動引き落としを検討することについて賛成の方は挙手願います。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

5. 協議事項

5-2 教員・スクール事業委員会の事業計画

別紙のとおり、担当理事連名で教員・スクール事業委員会事業計画について提案した。荒井常任理事から要点を説明し、提案書に沿って協議した。フライヤー登録の銀行引き落しの提案については、協議から審議に変更された。結果については審議事第 4-13 号議案を参照のこと。

6・ 報告事項

6-1 予算収支：進捗管理表

別表参照

6-2 2006年度共済会決算報告

別表参照

6-3 5月フライヤー会員実績・技能証実績

下村会長： 過去の実績をみると、B証を取得したもののうち約55%がP証を取得しています。A証のマージンをスクールに還元して、A証を積極的に発行していただく。その結果B証、P証の発行が増えるという構図が出来上がります。このことを戦略的に押さえていただきたいと思います。

6-4 JHF 総合保障制度の進捗状況

東海日動パートナーズジャパン高木氏からJHF総合保障制度の途中経過を報告した。6月8日時点で216件の申込みがあった。約半数が工作中不担保のプラン2口に加入、残り大半が同じく工作中不担保1口に加入。工作中担保は10件程度で、全体からすれば少数。今後は途中加入を月単位で受け付けることとした。毎月20件程度の途中加入を見込み、当面500件、最終的に700件の加入者を達成することを下村会長から呼びかけた。また総合保障制度が一段落するので、施設賠償責任保険を各スクールに紹介できるよう早急に準備することとした。

6-5 FAI ポロシャツとネクタイ

JAAからの共同購入の呼びかけ。希望者から現金で予約注文を受け付けた。スクール通信でも呼びかけることになった。

総会でのロゴマークの決定方法を確認して、理事会を閉会した。

]

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名、捺印する。

議 長 _____
(西ヶ谷一志)

署名人 _____
(松田 保子)

署名人 _____
(北野正浩)

議事録作成人：桜井加代子